

社会教育主事資格・社会教育士称号の取得者向けアンケート結果（第二次集計）

1. アンケートの概要

- ・期 間 : 令和4年5月17日(火)～5月27日(金)
- ・対象者 : R2、R3年度社会教育主事資格・社会教育士称号を取得した方
- ・依頼先 : 社会教育主事講習の実施機関 15機関(14大学+1機関) * R2、R3年度実施機関
養成課程実施機関 4機関(抽出)
- ・回答者数 : 781人 / 1,864人 中

2. アンケートの結果（記述式回答：主な回答のみ）

①社会教育士の称号を取得したことに対する評価について

○「とてもよかった、よかった」と回答した方(75.3%)

- ・社会教育の知識や必要性を再確認できた。
- ・受講者と新しいネットワークができた。
- ・学校だけでなく地域など社会全体を意識して、社会活動をするようになった。

○「どちらでもない」と回答した方(23.9%)

- ・現在、社会教育主事として活動しているため。
- ・社会教育主事・社会教育士の認知度が低い。
- ・活用できる場を見出せない。

○「あまりよくなかった、よくなかった」と回答した方(0.8%)

- ・自分の方向性と違う活動を押し付けられる。
- ・派遣元の学校に社会教育の理解が低く、講習参加により、わだかまりができた

② 今後、資格等をどのように活用したいか

- 地域と学校、家庭との連携など、つながりづくりに活かしたい。
- 地域の課題解決やまちづくりに役立てたい。
- 現在の仕事に活かしたい。

③ 資格等を活用していない要因は何か

（活用していない 55.8%）

- 現在の職業と併用することが困難。
- 資格の認知度が低い。
- 活動する場がない。

④ 講習修了者同士のとのネットワークに期待するものは何か

（ネットワークの希望者 75%）

- 新しい情報や活動した実績などの情報共有ができる。
- 社会教育士としての活動できる場所や職務等の情報提供。
- 様々なことを相談できる交流の場がほしい。

⑤ 継続学習をしたい内容について

（継続学習の希望者 75%）

- ・最新の情報を習得できる講習会の参加（継続的な学びの場）
- ・社会教育の実践事例や取組等の紹介
- ・社会教育士の活用方策について

⑥その他、社会教育士等への意見について

○社会教育士について

- ・地域や社会はもちろん、学校現場等への認知度をあげてほしい。
- ・社会教育主事の配置を充実させてほしい。
- ・活躍できる場を提供してほしい。
- ・キャリアパスを示してほしい。
- ・社会教育士のメリットがわからない。

○社会教育主事講習について

- ・講習終了後に証明書やバッチなど身分を証明するものがほしい。
- ・オンライン講座はありがたい。
- ・社会教育主事講習の必須化

○その他

- ・講習修了者に対する処遇改善をお願いしたい。
- ・活動実績に応じたポイント(レベルアップ)化の導入をお願いしたい。
- ・学校管理職の講習への参加を努力義務化してほしい。
- ・制度がよりよいものとなるように予算の獲得や進捗状況等のアウトプットが必要である。